



次回運転日は8月26日です

7月15日の運行状況

ボランティア 23名

乗客数

下り 129名

上り 33名

参加者からのひとこと

初めてでしたが、また参加します。(小山さん)

楽しく作業できました。また参加します。(笹川さん)

また参加します。もったいなく思っていたのですがそうでもなく作業できました。(和田さん)

なつかしい石炭の香りと汽笛が聞けて楽しかった。(武藤さん)

ウラの仕事が出来、楽しく過ごせました。(松井さん)

第二回 客車の掃除の仕方を海老原英治さんに聞く

「ボランティア達が現場で何をしているのかを伝える」ことを目的に始めたボランティア・インタビュー。今回は、前回のカマ磨きと共にトラストトレイン発車前の大事な仕事である客車の掃除について海老原英治さんにお聞きしました。

客車は、直接乗客の方が接するものですが、作業は大変なんでしょうか？

海老原 3輛編成ですが、満席になると120名以上の方がお乗りになりますので、隅々まで綺麗にするのはそれなりに時間はかかります。

発車前の作業時間は実質1時間+ ですが、幸いボランティアに参加して下さる方が増えているので、この時間内で普段の作業は終了します。

——運転日のボランティア作業の流れを教えてください。

海老原 新金谷駅に集合後、全員で構内に留置してある客車まで移動します。

車内に入ったら、換気のため全てのブラインド・窓を開け、オハニ36に集まり財団の松本さんを中心にミーティングを行います。

当日の注意・インフォメーションの説明の後、カマ磨き組と客車組に別れ作業に移ります。

——掃除は難しいのですか？

海老原 決してそんなことはありません。皆さんが自宅などで行っている掃除の延長と考えてください。

具体的には、まず座席・床を



掃き掃除したあと(別々の箒を使います)網棚のフレーム・ブラインドカバー・窓とその周辺・座席の手すりとひじ掛けを、固く絞った雑巾で拭いていきます。またトイレも忘れずに掃除します。

時間、人数に余裕があるときは、灯具・扇風機の雑巾掛けもします。

座席も数が多く、また車内も広いので一人で無理をせず、分担して作業するのがコツです。

——床は水拭きしないんですか？

海老原 汚れの酷いときを除いてなるべく避けるようにして





線路であるということ
をまず頭において、安全には充分注意してください。

ヘルメットを被るのは当然のこと、現場の人の指示には絶対に従ってください。また車内には保安装置（手ブレーキ、非常弁など）がありますが、これらは実際に機能しているものですから、手を触れないようにしてくだ

います。と言うのも床の敷物（リノリウム）が長年の使用で傷みが出て来ています。傷んで浮き上がった隙間に水が入ると更に傷みを進行させてしまうんです。

特にスハフ43 2の床はヒビ割れが進行しており、この車両は原則として水拭きは行いません。

——掃除の他に作業はあるのですか？

海老原 はい、あります。各車両のゴミ箱に（洗面所に設置してあります）ビニール袋の

セット、スハフ43の車掌室にマイクアンプとオルゴールのセット、また車内・車外に号車札とサボの装着を行います。

それと壊れている所は無いかというチェックは常に行うようにしています。

これらの作業が終わって、お客さんを迎える準備が整います。

——何か特に気を付けなければいけない事はありますか？

海老原 水汲みなどの用事で車外に出ることがありますが、外は実際に営業している鉄道

さい。

それと前回伊藤さんも言っていたように、汚れてもいい恰好、もしくは着替えを用意したほうがいいでしょう。

——最後にこの記事をご覧になっている方に何かメッセージを。

海老原 今までお話ししましたように、前回のカマ磨き同様、決して難しいことをしている訳ではありません。

産業文化財を保存すると聞くと、固いものに感じられますが、実際に客車に触れることで当時の車両と現在の車両構造の違いも判りますし、一緒に作業すればこの車両達も身近に感じられると思います。

いままで参加されたことの無い方も、是非一度遊びに来て下さい。

——ありがとうございました。



インタビュー・写真

小城崇史

思い出の写真館

27

EB10と都電

海老原 英治

子供の頃、自宅から数分の所に都電が走っていた。この都電に乗り、次の電停を発車して間もなく、いつも楽しみにしていた場所があった。

その場所に差し掛かると、電車は大きな音を立てて線路を渡り、その間、車中は真っ暗になる。普段は止まることもなく通過するが、稀に茶色い小さな機関車が貨車を引いて目の前を横切ることがあった。不思議なもので、線路を渡る音を聞くと、それだけでワクワクしたものだ。機関車の姿を見られた時はワクワクが倍増され、『ヤッター』という気持ちになったのを覚えている。

この場所は種明かしをするまでもなく、東京北区の王子5丁目電停付近で、都電は旧王子電軌の27系統、又、茶色の機関車はEB102である。



鉄道に関する情報など何も持ち合わせていなかった当時のこと、EB10が何処まで行くのか、又いつ走るのか等皆目見当もつかず、姿を見るのはまさに運だけだった。

今にして思えば、都電と交差する光景を一枚でも撮っておけばと悔やまれるが、その頃は全く考えつかず、いつまでもあるものだと思っていた。

あれから20数年。道路から線路は消え、今では地下鉄南北線が走っている。

(写真は田端機関区一般公開の時のスナップで、ステップに乗っているのは小学生の私。光線、アングル等お見苦しいのはご容赦の程を。)

関西サークル 8月26日T・Tボランティア

毎年一泊で行なう恒例の行事ではありますが、本年は阪神淡路大震災の為、前半の見学会が7月にずれ込み、後半に行事が集中してしまった事もあり、日帰りのプランとしました。また、従来往復とも青春18切符を利用した普通列車でしたが、どうしても所定の時刻(10:30)に間に合わない事を考慮し、行きは名古屋まで新幹線利用としました。東京方面よりこちらからの方が少し遠いと言う理由で所定の時刻に遅れるのはサークル全体のために余りよくありませんので、どうかご理解下さい。

なお、新大阪 名古屋の回数乗車券(自由席)がJR 窓口より1300円程安い4210円で金券ショップやビジネスホテルのフロントで売られています。青春18切符同様各自で前もって手配されるようお勧めします。帰りも急ぐ方は2枚求めて下さい。

集合：ひかり206号3号車(自由席)

新大阪 6:30 京都 6:47 名古屋 7:29(在来線乗り換え)

名古屋 7:42 (新快速) 豊橋 8:33

豊橋 8:41 浜松 9:14

浜松 9:19 金谷 9:57

大井川鉄道 金谷 10:18 新金谷 10:23

・千頭まで乗車される方は、フリー切符(往復3240円、2日間有効)を買っておくことをお勧めします。

・10:30よりミーティングの後、発車前の清掃作業等のボランティアに参加。昼食は駅の向かいのスーパーの弁当を各自買い、12:00頃車内でみんな一緒に食べます。

新金谷 12:50 (トラストトレイン) 千頭 14:05

・下りトラストトレイン撮影の方は12:35分の電車で移動して下さい。撮影地に関しては各鉄道雑誌を見るか、長谷川健夫・伊藤栄一両会員に聞く事をお勧めします。

主な場所としては：

笹間渡駅上り方500mの第一鉄橋及び600mの茶畑カーブ

崎平駅上り方500mの第三鉄橋と茶畑

千頭駅上り方徒歩10分の第四鉄橋

と言ったところです。

千頭駅到着後、添乗ボランティア会員以外は、駅構内に留置しているヨ5000の風通しと内部点検を1時間で行います。(千頭駅長の指示に従う事)

千頭 15:30 (トラストトレイン) 新金谷 16:46

・列車は金谷まで行きますが、添乗ボランティア以外は新金谷で下車して下さい。下り撮影の方も上りにはなるべく乗車して下さい。(途中停車駅：駿河徳山、下泉、家山)

列車が戻って来るのを待って、新金谷で総括のミーティングを簡単に行ないます。

新金谷 17:18 金谷 17:23(場合によってはタクシー分乗)

東海道本線 金谷 17:42 磐田 18:08

・磐田駅構内で数年前まで使われていた、旧鉄道院の跨線橋鉄柱が一本、説明付で改札口横に保存されています。また、貨物ホームにはレンガ基段が残っており、20分間のミニ見学会を行ないます。

磐田 18:33 浜松 18:44

浜松 18:45 豊橋 19:19(必要な方は、酒・つまみ仕入れ)

豊橋 19:41 (新快速) 21:34 米原 21:36 京都 22:29 大阪 22:59

日帰りの為かなりの強行スケジュールになった事をご了解下さい。もう少し早く帰りたい方は、大井川では出来るだけ同一行動をとられた上で、名古屋から新幹線をご利用下さい。名古屋 金谷片道運賃は2470円ですから、それでも青春18切符の元はとれてしまいます。

現地で一泊されたい方は、次の旅館を紹介します。予約は各自で願います。

金谷町 吉田屋旅館 0547-45-3079

なお今回は日帰りですので、添乗ボランティア希望の方以外は申込みの必要はありません。(財団事務所には、参加人数の把握のため連絡を入れて下さい。)

JR 東日本中央線東京駅重層化完成

今を去ること1ヶ月ほど前、7月2日(日)12:51発の列車より、それまでの2階ホームより1段上の3階ホームの使用が開始された。

財団事務所に程近いJR東京駅の中央線ホームは、北陸新幹線乗り入れに備え、旧ホームよりも赤レンガ寄り上方に新ホームを作ったのである。これにより、3番線以降9番線までを山側へずらしていき、9番線と12番線との間に北陸新幹線乗り入れさせようとしているのである。結果的に1・2番ホームは「押し出された」という事なのではないでしょうか。地上より新ホームまでは10数基あるエスカレーターにより、又、丸の内側改札内南北の行き来は、自由通路の開通により便利になったようです。

平成10年乗り入れ開業予定の北陸新幹線開通までは、前記の線路移設等により通路の変更等で新ホーム工事時の不便さが舞い戻るような気がするが、便利で快適な東京駅が出来ることを期待します。

丸山清和 写真・谷口直人



線路切り替え前の旧ホームへ来た記念ステッカー付き電車
翌日の新ホームからの一番電車に充当される



新中央線ホームの下に出来た“新コンコース”
の一部に出っ張った、赤レンガ駅舎

いんぷおめいしよん

いよいよテレカ発売

皆さんからのテレカ基金も順調に集まり、8月の運転日にはトラストレイン車内で販売できる見通しとなりました。

絵柄は一種類で、会員の長

谷川健夫さんの撮影した写真を使用しています。値段は一枚800円の予定です。

車内販売専用ですが、サークル会員に限り通信販売も考えています。詳しいことは、次号で発表致します。

編集後記

ものすごく暑い毎日ですが、皆様は体調の方はいかがでしょうか。私は、会報の編集に追われ続ける今日この頃です。なにしろ、一冊のこの会報を作るのにも、数カ所の事務所を渡り歩いて作業をしている状態なのです。(まっく田中)

日本ナショナルトラスト 鉄道サークル会報 第74号 1995年7月号

〒100 千代田区丸の内2-4-1 丸ビル414区 Phone 03-3214-2631 Fax 03-3214-2633